

令和4年度

事業実績報告書

本部
北見老人ホーム
北寿園
川東訪問介護事業所

社会福祉法人めぐみ会

令和 4 年度 事業実績報告書

令和 2 年 2 月、北見市内で新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のクラスター発生を受け、北見老人ホーム及び北寿園では、感染防止対策として、基本的な感染防止策（三つの密の回避、人と人との距離の確保、マスクの着用、手洗い等の手指衛生、換気等）の徹底を心掛けるとともに、感染の拡大状況により、面会等の制限や利用者の外出規制をお願いしたほか、職員の健康管理等により、感染源の施設持ち込みを防止していたが、令和 4 年 12 月 2 日、北見老人ホームにおいて、利用者様より新型コロナウイルス陽性が判明したことから、急遽、当日開催を予定していた第 2 回理事会を書面開催に変更する対応を取らせていただいた。

その後、複数の利用者様及び職員の感染を確認し、感染者が 5 人を超え、クラスター化したことから、週明け 5 日、感染状況確認に日赤医師と北見保健所の職員が来園され、改めて施設での感染対策や活動方針「入居者の健康と生活を守る」等の指導をいただいた。

北見保健所の指示のもと、幸い重症者を出すことなく、令和 5 年 1 月 16 日に経過観察期間が終了し、入所者感染者 80 名、職員感染者 19 名の集団感染を終息宣言。

その間、ホームの職員体制は、感染時期の危機的な重複に至らなかったことから、他施設へ応援職員の派遣を要請せずに業務を遂行できた。

また、北寿園では、2 月 1 日、新規短期入所者様 1 人の新型コロナウイルス感染が判明し、ご家族及び保健所と相談し、自宅にて療養いただいた。

施設内での感染発生を受け、改めて利用者様が安心して生活できる環境の保持に向け、職場内外における基本的な感染防止対策の再徹底を図った。

次に、令和 4 年度の経営状況は、北見老人ホーム会計予算が△3,100,000 円の赤字予算でスタートしたが、北寿園会計と共に黒字で決算することができた。老人ホーム会計では、職員採用により介護報酬事業収入が対前年度+13.3%、7,763,777 円増の決算額 66,160,267 円。また、収入の太宗を占める老人福祉事業収入は、対前年度△0.3%、671,022 円減となったが、予算額を上回る 225,726,431 円を確保でき、今後の施設整備を見据え 8,000,000 円を施設整備基金に積立てることとした。

北寿園会計では、介護保険事業収入が対前年度+2.5%、11,690,728 円増で決算額 485,143,171 円を確保。なお、人件費支出に係る職員採用では、平成 29 年度から栄養係長（管理栄養士）の産休代替として臨時雇用していた管理栄養士を年度当初に正職員採用し、2 名体制とすることで、入所者様の栄養マネジメントによる健康管理の向上に取り組み、栄養マネジメント強化加算の要件を満たしたほか、年度途中で常勤の看護師を採用し、看護体制加算の取得要件を整備した。また、少子高齢社会の到来で介護業界も人手不足の深刻化から外国人労働者の活用が進められているが、懸案となっていたベトナム人技能実習生を 8 月 23 日付で採用するなど、今後の事業運営に重要な人材の確保ができた年度となった。北寿園会計においても、今後の設備更新に備え、人件費や事業費の執行残から、10,000,000 円を施設整備基金に積立て処理を行った。

【めぐみ会事業実績】

◎北見老人ホーム施設設備の更新等事業として、暖房用ボイラー、厨房用ボイラー、ナースコールを計画どおり整備した。また、男子介護職員の採用に伴い、新たに男子用当直室を配置し空調設備を設置したほか、医務室の老朽化した分包機の更新を行った。

◎社会福祉法人めぐみ会定款施行細則の一部改正

○理事長が専決できる業務のうち、工事、物品購入その他の契約締結に関する1件当たりの金額を、モデルケースに合わせて100万円以上1,000万円未満に改正した。

……第1回理事会（令和4年5月27日）

◎社会福祉法人めぐみ会ハラスメントの防止に関する規程制定

○職場内におけるハラスメントを防止するために職員が遵守すべき事項や防止するための措置等を定めた。

……第2回理事会（令和4年12月2日書面開催）

◎社会福祉法人めぐみ会北見老人ホーム管理規程等の一部改正

○施設における虐待防止及び職場におけるハラスメントの防止に係る規定を新設した。

……第2回理事会（令和4年12月2日書面開催）

◎予算執行状況及び決算見込みを理事会へ報告

……第2回理事会（令和4年12月2日書面開催）

◎社会福祉法人めぐみ会就業規則等の一部改正

○各種職員に特別有給休暇として付与されている「リフレッシュ休暇 3日」の取得について、職員採用の日から3月を勤務し、正式採用となった後、年度内に取得するに改正した。

……第3回理事会（令和5年3月3日）

◎社会福祉法人めぐみ会事業継続計画（BCP）の策定

○令和3年度介護報酬改定において、令和6年3月末までに策定が義務化された介護事業のBCPを「新型コロナウイルス等、感染症対策編」及び「災害発生（地震・水害等）を想定したもの」に分け策定した。

……第4回理事会（令和4年3月3日書面開催）

◎監事監査の実施

○監事による予算の適正執行・適正運営・決算等監査の実施（3回）

令和4年度 社会福祉法人めぐみ会

理事会、評議員会開催及び監事監査実施状況

月別	理事会・評議員会の開催	監事監査の実施
4月		
5月	第1回理事会（5月27日） ・定款施行細則の一部改正・定時評議員会の招集・決算、事業実績報告他	第1回内部監査（5月16日） ・会計、決算
6月	第1回評議員会（6月17日） ・決算、事業実績報告	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		第2回内部監査（11月7日）・法人、業務
12月	第2回理事会（12月2日）書面開催 ・給与規程の一部改正・非常勤臨時職員準職員就業規則の一部改正・継続雇用職員就業規則の一部改正・ハラスメントの防止に関する規程・各事業所管理規程、運営規程の一部改正・各会計予算執行状況他	
1月		
2月		第3回内部監査（2月13日）・業務
3月	第3回理事会（3月3日） ・就業規則の一部改正・非常勤臨時職員準職員就業規則の一部改正・継続雇用職員就業規則の一部改正・事業継続計画の策定・予算（案）、事業計画（案）他	
	：上記理事会開催の他、毎月三役会議を開催	：内部監査は、年3回実施。 ：監事の主な項目 法人理事会運営・施設運営・会計経理・資産管理・入所者処遇・災害事故防止・感染症予防等他

1. 会務の運営 (理事会議事録に関する事項)

◎令和4年4月1日～令和5年3月31日

開催年月日	開催場所	主 な 付 議 事 項
R4.5.27 (金) 第1回	北寿園会議室 理事6名中 5名出席 監事2名中 全員出席	議案第1号 社会福祉法人めぐみ会定款施行細則の一部改正について 議案第2号 社会福祉法人めぐみ会就業規則の一部改正について 議案第3号 社会福祉法人めぐみ会北寿園運営規程の一部改正について 議案第4号 社会福祉法人めぐみ会 定時評議員会の招集について 議案第5号 令和3年度 本部会計補正予算(案)について 議案第6号 令和3年度 北見老人ホーム会計補正予算(案)について 議案第7号 令和3年度 北寿園会計補正予算(案)について 議案第8号 令和3年度 法人本部事業実績報告について 議案第9号 令和3年度 北見老人ホーム拠点事業実績報告について 議案第10号 令和3年度 北寿園拠点事業実績報告について 議案第11号 令和3年度 法人本部会計収支決算報告について 議案第12号 令和3年度 北見老人ホーム会計収支決算報告について 議案第13号 令和3年度 北寿園会計収支決算報告について 報告第1号 令和3年度 法人各会計収支決算監事監査報告について 報告第2号 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について
R4.12.2 (金) 第2回	開催当日、 北見老人ホームにおいて新型コロナウイルス感染症の発生により、急遽、書面開催とした。 理事6名 監事2名	議案第1号 社会福祉法人めぐみ会給与規程の一部改正について 議案第2号 社会福祉法人めぐみ会非常勤・臨時職員・準職員就業規則の一部改正について 議案第3号 社会福祉法人めぐみ会継続雇用職員就業規則の一部改正について 議案第4号 社会福祉法人めぐみ会ハラスメントの防止に関する規程の制定について 議案第5号 社会福祉法人めぐみ会北見老人ホーム管理規程の一部改正について 議案第6号 社会福祉法人めぐみ会北見老人ホーム指定特定施設入居者生活介護事業所運営規程の一部改正について 議案第7号 社会福祉法人めぐみ会 川東訪問介護及び介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正について 議案第8号 社会福祉法人めぐみ会 北寿園運営規程の一部改正について 議案第9号 役員等賠償責任保険契約について 報告第1号 令和4年度 本部会計予算執行状況及び決算見込みについて 報告第2号 令和4年度 北見老人ホーム会計予算執行状況及び決算見込みについて 報告第3号 令和4年度 北寿園会計予算執行状況及び決算見込みに

		について 報告第 4 号 理事長及び常務理事の職務執行状況の報告について 報告第 5 号 監事監査の結果報告について
R5.3.3 (金) 第 3 回	北寿園会議室 理事 6 名中 全員出席 監事 2 名中 1 名出席	議案第 1 号 社会福祉法人めぐみ会就業規則の一部改正について 議案第 2 号 社会福祉法人めぐみ会非常勤・臨時職員・準職員就業規則の一部改正について 議案第 3 号 社会福祉法人めぐみ会継続雇用職員就業規則の一部改正について 議案第 4 号 社会福祉法人めぐみ会事業継続計画 (BCP) の策定について (災害編及び感染症対応編/別紙) 議案第 5 号 令和 4 年度 北見老人ホーム会計補正予算 (案) について 議案第 6 号 令和 4 年度 北寿園会計補正予算 (案) について 議案第 7 号 令和 5 年度 本部事業計画 (案) について 議案第 8 号 令和 5 年度 北見老人ホーム拠点事業計画 (案) について 議案第 9 号 令和 5 年度 北寿園拠点事業計画 (案) について 議案第 10 号 令和 5 年度 本部会計予算 (案) について 議案第 11 号 令和 5 年度 北見老人ホーム会計予算 (案) について 議案第 12 号 令和 5 年度 北寿園会計予算 (案) について 議案第 13 号 令和 5 年度 業務委託等の契約継続について 報告第 1 号 監事監査の結果報告について

(評議員会議事録に関する事項)

◎令和 4 年 4 月 1 日～令和 5 年 3 月 31 日

開催年月日	開催場所	主 な 付 議 事 項
R4.6.17 (金) 第 1 回	北寿園会議室 評議員 7 名中 5 名出席 理事 3 名出席 監事 1 名出席	議案第 1 号 令和 3 年度 法人本部事業実績報告について 議案第 2 号 令和 3 年度 北見老人ホーム拠点事業実績報告について 議案第 3 号 令和 3 年度 北寿園拠点事業実績報告について 議案第 4 号 令和 3 年度 法人本部会計収支決算報告について 議案第 5 号 令和 3 年度 北見老人ホーム会計収支決算報告について 議案第 6 号 令和 3 年度 北寿園会計収支決算報告について

令和4年度 事業報告

養護老人ホーム 北見老人ホーム

1.実施事業

養護老人ホーム 北見老人ホーム（うち外部サービス利用型特定施設：定員40名）
訪問介護事業所 川東訪問介護事業所

2.事業の運営

令和4年度も終始、新型コロナウイルス感染症予防と利用者、職員の安全を最優先に施設環境の構築に努めたが、昨年12月2日に利用者1名が新型コロナウイルスに感染し、同日全館対象のPCR検査で新たに利用者3名、職員2名の感染が確認され、当施設においてクラスターが発生した。利用者80名、職員19名、累計99名が罹患するに至ったが、保健所指導のもと職員一丸となり感染拡大防止に努めた結果、重症化することなく1月16日をもってクラスターを収束することができた。利用者、家族には大きな不安と負担をかけたが、日々の健康管理と感染者状況を把握し、手紙や電話等で施設の取り組みを共有することで不安の軽減に努めた。感染具についても、施設備蓄品と支援物資により備品が不足することなく対応することができた。

また、新型コロナウイルス感染症を含む感染症予防対策や、地震、風水害等が発生した場合でも、必要な介護サービスが提供できるよう業務継続に向けた計画(BCP)を策定し、研修や訓練（シミュレーション）を実施した。

利用者処遇については、心身の健康を保ち生きがいある日常生活が送れるよう支援し、介護が必要になった場合は、外部サービス利用型特定施設において身体介護を基本に、可能な限り利用者のニーズに応えられるようサービスの提供に努めた。

3.利用者状況

【年齢構成】

(令和5年3月31日現在)

	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均年齢
男	0	1	4	9	5	9	4	2	0	34	83歳2ヵ月
女	0	2	3	12	23	23	20	6	4	93	86歳6ヵ月
計	0	3	7	21	28	32	24	8	4	127	85歳7ヵ月

最低年齢68歳（男性）、最高年齢105歳（女性）。

措置状況：北見市118名、美幌町6名、相模原市1名 音更町1名 清里町1名。

【介護度状況】

(令和5年3月31日現在)

非該当	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
53	14	2	27	14	10	5	2	127

非該当者は7人減少した。状態変化に応じて区分変更し、特定施設入居者生活介護サービスを適切に利用していただけるよう支援した。

【入退所状況】

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	3	2	2	2	4	1	2	2	2	0	4	1	25
退所	2	1	1	1	0	0	0	1	0	3	0	1	10
入院	2	6	5	5	4	1	7	3	2	2	5	1	43
退院	2	4	4	3	6	1	2	4	2	0	2	2	32
転院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
死亡	1	2	2	1	1	2	2	1	0	1	2	0	15

退所理由：施設替え4名、入院継続6名 死亡理由：施設で看取り5名、病院で死亡10名

高齢、重度化、医療的ケアのニーズが高まり、入所は3年度対比で12名と大きく増え、市町村と協働し、待機者の管理、退所による空床防止に努めた。

【利用者在園期間】

(令和5年3月31日現在)

	6ヶ月未満	6ヶ月以上 1年未満	1年以上 5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 30年未満	30年以上	合計	平均利用 期間
合計	9	14	54	27	11	9	3	0	127	5年7ヵ月

4.生活管理指導短期宿泊事業 利用者状況

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	0	1	1	3	2	2	2	1	1	1	2	17
利用日数	5	0	1	6	37	13	36	32	31	31	8	62	262
利用収入	19,050	0	3,429	20,574	126,873	44,577	123,444	109,728	106,299	106,299	27,432	224,409	912,114

利用理由：緊急保護2名の内1名入所、体験入所8名の内4名入所、2名待機者、1名取下げたが、各関係機関と連携を図り、快く且つ有効に利用できるような積極的な受入れを行った。

5.各委員会活動

【感染防止対策委員会】(毎月1回)

嘱託医・看護師を中心に利用者の健康管理に努め、各種健康診断及び定期診察、定期通院を行うなど、失病の予防に努めた。新型コロナウイルス感染症予防対策については、感染から利用者を守るため基本的対策の徹底、市内の発生状況に応じて情報提供及びマニュアルに基づき職員の行動確認を行った。また、ワクチン接種を希望する利用者、職員に円滑に受けられるよう支援した。

[利用者定期健診等の実施]

・予防接種 インフルエンザR4.10.3

新型コロナウイルスR4.7.27、R4.9.20、R4.10.4(4回目)

R5.2.22、R5.3.7(5回目)

・結核検診 R4.9.5

・健康診断 R4.7.2(1回目) 12月予定の2回目は、施設内感染により中止した。

〔職員定期健診等の実施〕

- ・ 予防接種 インフルエンザR4.10.13
新型コロナウイルスR4.7.27、R94.9.14、R4.9.20、R4.9.28、R4.10.4（4回目）
R5.2.22、R5.3.7（5回目）
- ・ 結核検診 R4.9.5
- ・ 健康診断 R4.4.11～4.19（1回目）2月予定の2回目は、施設内感染により中止した。
- ・ 腰痛検診 R4.11.1～11.30（1回目）2月予定の2回目は、市内感染拡大により中止した。

【事故防止対策委員会】（毎月1回）

昨年度（8件）と比較し、3件増加。転倒骨折では居室内の動線や配置を工夫することで防げる事故もあったため、個々に改善すべき点を協議し再発防止に繋げた。自殺企図では、暴力行為に至るまでの経緯を理解してほしい思いが不満へ変わり、異物を飲み込み自傷行為で正当化しようとしたケースであった。入院により精神安定に努め、退院後当施設での生活は困難と判断し施設替えとなったが、集団生活における人間関係の構築や自己顕示欲に対する対応の難しさを改めて感じた。ヒヤリハットについては、集約した内容を委員会で報告し、協議を行った。

〔オホーツク総合振興局・北見市への報告件数とその内容〕

（令和4年度）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨 折	0	0	1	2	1	0	0	1	1	0	2	0	8
誤 薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
自殺企図	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
感染報告	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
ひやり・はっと	0	2	0	1	0	3	0	2	0	1	1	0	10

【身体拘束・虐待防止委員会】（年3回）

介護保険制度において義務付けられた3ヵ月毎に委員会を開催し、利用者の人権尊重、プライバシー保護、身体拘束・虐待防止に対する理解の徹底を図り、身体拘束廃止と虐待防止マニュアルを見直し、虐待や不適切な行為の一切を排除すべく、介護や接遇の質の向上に努めた。言葉遣いや日常的に行われているケアを振り返ることで、自身の対応や認識など気づきの視点を持つことができた。

【処遇検討委員会】（年4回）

感染防止の観点から施設の取り組みや市内の感染状況等各階懇談会で説明を行った。希望や要望については、反映できるよう支援の方法を職員間で協議することに努めた。面会制限化の状態変化や生活の様子については、差し入れ時や電話連絡等により丁寧な説明に努めた。日常的な支援は定期的にブロック会議を開催し、適切な援助方法を共有しながら同じ視点で取り組むよう努めた。利用者同士のトラブルは、速やかに対応し、終結に努めた。日常業務は、利用者の安全確保とリスク管理、業務の効率化を図り、重点目標や工夫している点を自己評価し、自己研鑽に努めた。

【研修委員会】（年5回）

〔外部研修〕

Zoom研修や動画配信期間中に多くの職員が施設内で受講することができた。研修で得たことを伝達し、専門職としてスキルアップや意欲的な姿勢が見られた。

	視聴期間	研修名	参加者
1	R4.9.22 ～10.31	令和4年度オホーツク地区福祉施設協議会 第1回オンラインセミナー	施設長 課長 介護職員6 サービス提供責任者
2	R4.11.2 R5.2.2	令和4年度全国老人施設協議会 第1回養護老人ホーム職員研修	介護職員1
3	R4.10.18 ～10.31	e-JINZAI コンプライアンス研修	介護職員6
4	R5.3.13	令和4年度オホーツク地区福祉施設協議会 第2回オンラインセミナー	施設長 介護職員1

〔内部研修〕

緊急時の対応や感染症対策等、課題別に実践研修を行い、機能の充実を図った。

	実施日	研修名	参加者
1	R4.4.13	非常災害時における食事提供の学習会	栄養士1 調理職員7
2	R4.5.18	新人オムツ研修会	介護職員3
3	R4.5.19	新人口腔ケア研修会	介護職員3
4	R4.8.2	救急研修会	介護職員11 看護職員3
5	R4.10.19	感染予防研修会（新型コロナウイルス感染者発生時のシミュレーション・机上訓練）	介護職員9 看護職員2
6	R4.10.31	感染予防研修会（防護具の着脱方法、居室、食堂での吐物処置等実践編）	介護職員13 看護職員3
7	R4.11.22	身体拘束・虐待防止研修会	管理課職員7 介護職員6 看護職員4 調理職員8

【口腔ケア委員会】（年3回）

生活の楽しみである食事を安全に続けられるよう、口腔ケア計画に沿って、食事の姿勢や開口状態、飲み込みの動作を観察し、個々に合ったケアができるよう努めた。特に、舌苔や唾液に含まれる細菌数が多いと呼吸器関連の感染症や誤嚥性肺炎のリスクが高くなるため、歯肉や頬に食渣が残らないよう丁寧なブラッシングに努めた。口内の衛生環境を整えることで、生活機能の維持・向上に努めた。

【排泄委員会】（年3回）

排泄パターンをつかむため、排泄時刻、回数、量、失禁の状態を記録し、定時のおむつ交換と個々の排泄サイクルに合わせた随時のトイレ誘導を行った。業者の協力でおむつ製品の性能や特徴を理解し、状況に応じたパッドを選定することで皮膚トラブルの軽減を図った。変化があった場合は、各居室に設置したホワイトボードを活用し、職員間で情報共有に努めた。新職員採用時には、おむつに関わる研修会を実施し、技術の習得に努めた。

【行事レク委員会】（年8回）

施設での生活を活動的に過ごせるよう、年間行事を可能な限り実施した。イベントの際には、利用者と一緒に貼り絵や共有スペースに飾り付けを行い、少しでも楽しんでいただけるよう創意工夫に努めた。秋季には、菊祭り会場を見学し、外出の機会を設けることができた。余暇活動では、折り紙で作ったリースや天井飾りなど自主的な活動の輪が広がり、有意義な時間を提供できた。

[年間行事]

実施月	名称	内容	実施月	名称	内容
6月	縁日	施設内お祭り	11月	ショッピング	呉服店の協力で施設内ショッピング
7月	七夕	利用者と壁画作成	12月	クリスマス	カレンダーを居室へお届け
9月	敬老会	施設内で式典を開催	2月	節分	落花生を居室へお届け
10月	小旅行 菊祭り	市内の店舗へ買い物 第70回菊祭り会場見学			

【給食運営会議】（毎月1回）

利用者の嗜好を考慮した食事に努め、月1回誕生祝の他、節句にちなんだ料理や季節感ある旬の野菜や果物等を取り入れ、栄養バランスの良い献立と行事食の提供を心掛けた。

体調不良や食欲低下が見られた利用者については、身体状況に応じて個別に調理を行った。

また、保存食、食品の温度管理、記録を確実にし、食中毒を予防し、衛生管理に努めた。

[年間行事食]

実施月	内容	実施月	内容
7月	土用の丑	1月	新年祝い膳／鏡開き
9月	敬老祝い膳／秋のお彼岸	3月	ひな祭り／春のお彼岸
12月	クリスマス膳／年越し膳		

【防火防災対策委員会】（毎月1回）

安全管理体制の確立を図り、地震、火災、天災等の非常事態に備え、防災設備の定期点検を行い、迅速かつ的確に対応できるよう夜間帯における避難訓練を実施した。職員の役割分担の体制を把握し、災害時の行動力を培うため利用者へ配信動画を視聴し防災意識の向上に努めた。また、災害や緊急時の備えとして懐中電灯や非常時に必要な物品を確認し、訓練の一環として防災食を使用した提供訓練を実施した。

[年間訓練計画]

	実施日	訓練内容
1	R4.7.26	地震発生後3階西トイレより出火（夜間想定）
2	R4.8.24	地震発生後2階給湯室より出火（夜間想定）
3	R4.9.28	台風の影響により床上浸水の恐れ（夜間想定）
4	R5.2.20	通報訓練 北寿園より火災が発生

6.苦情対応と権利擁護

施設での苦情相談については、投書箱の設置やその都度、本人への聞き取りを十分実施し、改善策を立案することで解決に至っている。また、第三者委員及び施設外の苦情受付機関への苦情申し立てはなかった。

7.成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害等により物事を判断する能力が十分でない利用者については、本人の権利を守る援助者を選ぶことで、法律的に支援している。援助者と月1回定期面談し、日常生活に必要な金銭管理の他、施設替え等代理申請に協力をいただいている。

家族保佐人1名、法人後見人1名、法人保佐人2名、弁護士・司法書士・社会福祉士による後見人3名、入所の時点で対象者が増えており、制度利用7名。

8.実習生の受け入れ

介護提供体制の維持及び感染予防の観点から、職場体験や介護福祉士養成校からの受け入れを見合わせた。次年度については、養成課程における実習教育の意義、一般就労を目標とした卒業後の進路決定に資するため、養成校と連携を図りながら実施に向けて準備を進めたい。

9.ボランティア・地域との交流事業

感染症拡大防止のため、外部との交流を伴うイベントや施設訪問、奉仕は中止を継続した。次年度については、地域の人達との交流でやりがいや意欲的な生活が送れるよう、市内の感染状況を見ながら緩和の時期を検討したい。

10.施設整備

施設運営に必要な設備機器の更新及び修理、工事について、複数業者による見積比較、自主修繕など計画的に実施した。突然の故障や破損の着手については、利用者の環境整備を優先的に取り組んだ。

- ・暖房用ボイラー設備更新
- ・NC更新工事
- ・分包機
- ・低床ベッド購入（5台）

11.広報

家族への情報発信として「陽だまり」の発行（年3回 北寿園との共同発行）

施設内行事の様子をパソコン上でも写真で楽しんでもらえるよう工夫し、新型コロナウイルスへの対応の徹底について、市内の感染者状況に応じて面会制限や緩和を検討し、随時ホームページへ掲載し、理解と協力を求めた。

12.職員配置

(令和5年3月31日現在)

	養護老人ホーム		特定施設入居者生活介護		川東訪問介護		合 計
	基準値	職員配置	基準値	職員配置	基準値	職員配置	
施設長	1	1	1 同一敷地内他 事業所と兼務可	1 兼務	1 同一敷地内 他事業所と兼務可	1 兼務	1 兼務
副施設長	0	1 主任生活 相談員兼務	0	1 生活相談員兼務	0	1 兼務	1 兼務
主任生活相 談員	2	1		—		—	1 兼務
計画作成者		—	1 養護主任生活相 談員と兼務可	1 兼務		—	
生活相談員	3 30 : 1 特定と兼務可	4	1 100 : 1 養護と兼務可	4 1 : 兼務		—	4 兼務
サービス 提供責任者		—		—	1	1	1
支援員	6 15 : 1	13 兼務 パート1	4 10 : 1	13 兼務	1.5 サービス提供責 任者合わせて2.5 以上	13 兼務	13 兼務 パート1
訪問介護員		—		—		1 パート2	1 パート2
看護師	2 100 : 1	3		—		3 訪問介護員兼務	3 兼務
栄養士	1	1		—		—	1
調理員	実情に応じた 適当数	4 パート4		—		—	4 パート4
事務員	実情に応じた 適当数	1		—		—	1
介助員	実情に応じた 適当数	1		—		—	1
用務員	実情に応じた 適当数	1		—		—	1
医 師	1 健康管理に必 要な数	1 非常勤		—		—	1
合 計		常勤31 パート5 非常勤1		兼務20		兼務16 常勤2 パート2	常勤(兼務)33 パート7 非常勤1

養護老人ホーム 北見老人ホーム
川東訪問介護事業所（介護予防）

1.事業の運営

利用者の高齢化に伴い認知症の発症など、生活全般にわたり介護を必要とする方が増えている。安心、安全に自立した日常生活を営むことができるよう、北見老人ホーム内特定施設の要介護にある利用者に対し、食事、排泄、移動介助の他、生活全般にわたる支援について、訪問介護計画に基づき、総合的なサービスの提供に努めた。

2.活動実績

[月別利用者数および介護度別利用者数]

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護1	9	10	12	12	12	12	13	14	11	11	11	12	139
要介護2	8	9	7	7	9	9	11	11	14	14	13	12	124
要介護3	12	12	12	13	11	11	10	8	8	8	10	9	124
要介護4	9	7	6	6	6	6	4	5	5	5	4	5	68
要介護5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24

3.要介護度別提供時間数

提供内容	介護度	単位(1日)	時間数(週7日)
身体介護 生活援助	要介護1	60分	420分
	要介護2	60分	420分
	要介護3	75分	525分
	要介護4	90分	630分
	要介護5	105分	735分

4.事業内容

(1) 訪問介護計画の作成

ケアプラン及び特定施設居宅サービス計画書に基づき、利用者が抱えているニーズを把握し、適切な訪問介護計画の作成を行った。

(2) 身体介護サービスの提供

訪問介護計画書に基づき、排泄、食事等、身体介護サービスを提供した。

(3) 生活援助サービスの提供

訪問介護計画に基づき、調理、洗濯、掃除等の生活援助サービスを提供した。

(4) モニタリング（訪問介護計画の実施状況の把握）の実施

状態変化時及び更新時に、生活相談員、各階担当が中心となり支援内容を検討し、サービス担当者会議において他職種と意見交換を行いながら利用者の状態把握に努めた。

令和4年度 事業報告

特別養護老人ホーム 北寿園

1.実施事業

特別養護老人ホーム 北寿園 定員 90名
短期入所生活介護 定員 10名

2.事業の運営

介護保険法令の趣旨に従い、利用者が有する能力に応じ、可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るように支援した。入浴、排泄、食事等の介護、健康管理・相談等の精神的ケア等を提供した。

3.利用者状況

【年齢構成】

(令和5年3月31日現在)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	合計	平均年齢
男	0	2	4	5	3	4	1	0	19	85歳1か月
女	1	0	5	4	19	22	14	2	67	90歳3か月
計	1	2	9	9	22	26	15	2	86	88歳5か月

※最少年齢：68歳8か月 ※最高年齢：100歳2か月

【介護度状況】

(令和5年3月31日現在)

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	平均要介護度
0	1	24	38	23	86	3.97

※昨年度の平均要介護度は、「3.93」

【入退所状況】

(令和5年3月31日現在)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入所	2	2	0	4	1	1	2	0	2	3	3	5	25
退所	1	1	3	1	2	0	3	3	2	3	4	3	26

※退所理由－死亡(施設内看取り)24名・入院退所2名

【利用者在所期間】

(令和5年3月31日現在)

利用期間	～6か月	～1年	～2年	～3年	～5年	～10年	～15年	～20年	合計	平均利用期間
合計	16	6	12	13	17	13	6	3	86	3年8か月

※ 最長利用期間 22年2か月

4.感染予防対策

新型コロナウイルスの流行拡大により、令和4年度も、感染予防の知識、体制の整備、対応方法などの重要性と利用者の安全な生活を守る意識を再確認するとともに、新型コロナウイルス対策マニュアルを整備した。予防対策を徹底できたことで、施設内での新型コロナウイルス感染症のほか、インフルエンザやノロウイルス等の感染症の発生も予防できた。

【新型コロナウイルスの予防対策】

・利用者

- ・家族等との面会禁止

感染の状況により、会議室での短時間の面会やガラス越しの面会、オンライン面会を実施した。差し入れ等は玄関で受け渡しを行った。

- ・毎日、朝・夕の検温を実施
- ・定期通院以外の外出は控えてもらう
- ・館内の掃除 → 消毒レベル 2
- ・新規入所者、退院者は2週間の居室隔離

・職員

- ・マスク着用、手指衛生の徹底
- ・通用口玄関での検温
- ・ケアグループごとに分散して休憩
- ・オホーツク管外に外出する時は外出届を提出（行動の把握）

・業者

- ・修理等で来園の場合は、玄関で検温、問診票を記入のうえ入館

【他の感染予防対策】

- ・入所利用前の診断書提出
- ・結核検診、健康診断の実施（5月～7月）
- ・インフルエンザワクチンの接種（10月）＝利用者・職員
- ・新型コロナウイルスワクチンの接種（4回目－7月・5回目－1月）＝利用者・職員

5.事故防止対策

利用者が安心、安全に生活できるよう、「事故防止・軽減」の視点で、「気づきの組織づくり」を進めてきた。環境の整備、利用者の特性を理解し、行動を予測できる視点を持つこと、また、認知症の理解に取り組み、事故の防止と軽減を図った。

【オホーツク総合振興局・北見市への報告件数とその内容】

(令和4年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
誤薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ひやり・はっと	10	15	22	7	11	17	8	6	6	16	13	9	140

6.身体拘束の禁止

身体拘束は著しく人権を侵害することから、平成14年度より禁止しており、身体拘束廃止実行委員会で、虐待と身体拘束につながる介護がないか検証を行った。特に虐待防止に視点を置き、職員の言葉遣いや、利用者に対する対応（無視することは無い
か、ナースコールの対応は適切か等）を中心に身体拘束廃止に取り組んだ。

7.心身状況の的確な把握と多様化に応じた支援の提供

（医療的ケア）

看護職員と介護職員の連携による「医療的ケア指針」に基づき、介護職員が喀痰吸引を実施した。頻回に痰吸引が必要な対象者はなく、予防的対応として、誤嚥予防のために、食前に嚥下体操を励行し、毎月嚥下チェックを行った。

喀痰吸引対象者 18名 喀痰吸引従事者（介護職員） 23名

（口腔ケア）

口腔機能維持を目標に、歯科医師・歯科衛生士の指導の下、利用者個々に合わせた口腔ケアを実施した。重点的な口腔ケアを実施する対象者を抽出し、再評価することで、適切な口腔ケアを行えるよう取り組んだ。

※ 令和4年度 口腔ケアマネジメント計画

口腔ケア推進のための課題対応

「入所者の口腔状況・ケアの必要性を評価する」

「自力で歯磨きや義歯洗浄をしている方の仕上げる確認を行う」

口腔ケアのための実施目標

「口腔ケアに関するアセスメントを定期的に確認する」

「自歯のある方が多くなっているため、正しい歯磨きの仕方を理解する」

「すべての利用者様の口腔内の確認と適切な口腔ケアを実施する」

重点的な口腔ケア対象者抽出数 10名

8.職員の資質向上

外部研修は、新型コロナウイルス感染予防のため、オンライン研修に参加し、内部研修は、各ケアグループで行った。

【外部研修】

実施日		研修名	参加者
1	R4.7.28	ライブ配信 スキルアップ研修（日本栄養士会） 「栄養ケア・マネジメントを最初から学ぶ」	管理栄養士 1名
2	R4.7.1～31	オンデマンド視聴（日本栄養士会） 「スキルアップ研修会高齢者編～初任者研修～」	管理栄養士 1名
3	R4.9.2～10.31	オンデマンド配信（オホーツク地区老協第1回） 「学び続けることの大切さ」「働くことの意味」	介護課長 庶務係長

4	R5.1.12～3.16	オンライン研修（北海道デイサービスセンター協議会） 「認知症介護実践者研修（実践者研修）」	介護職員 2名
5	R5.2.16	オンライン研修（北海道社会福祉士オホーツク地区支部 主催） 養介護施設従事者等による高齢者虐待について	介護職員 1名
6	R5.3.13	オンラインセミナー（オホーツク地区老協第2回） 「介護施設におけるカスタマーハラスメント」 「高齢者虐待防止」～職員・利用者双方の権利と尊厳に ついて考える～	庶務係長 介護職員 2名

【内部研修】

実施日		研修名	参加者
1	R4.5.26～31	オンライン研修「業務遂行に必要な優先順位」	28名
2	R4.6.24～30	オンライン研修「要介助者に著しい環境変化が訪れる 中で介護事故・トラブルの防止のポイント」	28名
3	R4.7.25～29	オンライン研修「高齢者虐待の防止、身体拘束の廃止」	24名
4	R4.8.23～30	「BPSDについて」「身体状況の観察とケアについて」	32名
5	R4.9.23～30	新型コロナウイルス感染症対応について	32名
6	R4.10.21～31	身体拘束に繋がらないような言葉使いについて	30名
7	R4.11.26～30	緊急時の対応（夜間想定）	30名
8	R4.12.21～29	「入れ歯をブラッシングする正しい方法」 「歯ブラシの使い方を学んで誤嚥性肺炎を予防」	30名
9	R5.2.22～28	「ベッドとサイドレールで考える、事故と身体拘束と は何か」	33名

9.避難訓練の実施

災害発生時に迅速に対応できるよう年3回の防災訓練の他、緊急連絡網運用訓練を実施した。

実施日		訓練内容
1	R4.7.13	2階ユニット個室から出火（日中想定）
2	R4.8.25	夜間、3階ユニット個室から出火。（夜間想定）
3	R4.9.21	常呂川の増水により1階が浸水の恐れがある。自然災害想定（日中想定）
4	R5.2.20	通報訓練

10.実習生の受け入れ・ボランティアの受け入れ

新型コロナウイルス、感染予防のためボランティアの受け入れができなかった。
実習生の受け入れについては、介護福祉士養成校の実習、将来の人材育成のため、受け入れを進めた。

【介護福祉士養成】

実習期間		学校名	学年	受入人数
1	R4.5.16～7.1	オホーツク社会福祉専門学校	2年次生	3名
2	R4.7.11～8.5 R4.10.24～11.4	北海道置戸高等学校	3学年	1名
3	R4.10.11～28	オホーツク社会福祉専門学校	1年次生	1名

【日赤看護大 老年看護学実習】

実習期間		学校名	学年	受入人数
1	R4.5.9～12	日赤赤十字北海道看護大学	3年次生	4名
2	R4.7.19～21	日赤赤十字北海道看護大学	3年次生	4名
3	R4.9.26～29	日赤赤十字北海道看護大学	3年次生	5名

11.広報

「陽だまり」の発行（年3回 北見老人ホームとの共同発行）
ホームページの運用（随時更新）

12.行事

新型コロナウイルス感染予防のため、めぐみ会全体で行っていた行事を中止し、北寿園独自で、三密を避けた行事を行った。また、日常のレクリエーションやお茶会等は、生活単位のユニットごとで毎月実施した。

実施日		名 称	内 容	備考
1	R4.6.23	花 見 縁 日	天候不良のため、屋内で花を見ながらゲームを楽しんだ。	
2	R4.8.17	仮 装 盆 踊 り	利用者と職員とが仮装し、各ユニットで盆踊りを行った。	
3	R4.9.9	敬 老 会	管理者より花束を渡し記念撮影を行った。	長 寿 3名 白 寿 3名 米 寿 5名 喜 寿 3名
4	R4.10.12	レ ク リ エ ー シ ョ ン 大 会	全館放送でユニットに居る利用者とゲームを行った。	

13.環境整備

新型コロナウイルス、感染予防のため、全館床清掃（特別清掃）は行わなかった。
全館居室燻蒸消毒は、R4年6月7日～28日に行った。

14.苦情対応と権利擁護

利用者等からの苦情及び権利については、入所契約書に記載し、入所契約時に説明を行っている。なお、日常的に、利用者や家族とのコミュニケーションを深め利用者や家族からの意見・要望に積極的に耳を傾け、問題を共有し改善に向けて取り組むとともに、言葉遣いやケアへの姿勢のチェックを職員間で行った。

※苦情受付：0件

15.職員配置

(令和5年3月31日現在)

	配 置 基準数	現 員				合 計
		正 職 員	継 続 職 員	準 職 員	臨 時 職 員	
管 理 者	1	1 兼務				1 兼務
副 管 理 者						
課 長		2				2
事 務 員		2				2
生 活 相 談 員	1	2 兼務 介護支援専門員 事 務 員				2 兼務
介護支援専門員	1	3 兼務 介 護 職 員1 生 活 相 談 員2				3 兼務
介 護 職 員	31	37	3	5	3	48
看 護 職 員	3	4				4
機能訓練指導員	1	3 兼務 看護職員兼務				3 兼務
医 師					嘱託 1	嘱託 1
栄 養 士	1	2				2
用 務 員					1	1
そ の 他	—	—			パート 5	パート 5
合 計	39	47	3	5	4 パート 5 嘱託 1	59 パート 5 嘱託 1

※その他は、入浴介助（半日 2 名）、リネン（半日 1 名）、清掃等（半日 2 名）

〔統計資料1〕

○参考介護報酬単価比較 ※消費増税に伴う改定

入所利用		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	旧措置Ⅰ	旧措置Ⅱ	旧措置Ⅲ
多床室	H12.4～H15.3	7,960	8,410	8,850	9,300	9,740	7,960	8,660	9,500
	H15.4～H17.9	6,770	7,480	8,180	8,890	9,590	6,770	7,850	9,240
	H17.10～H18.3	6,590	7,300	8,000	8,710	9,410	6,550	7,690	9,060
	H18.3～H19.3	6,390	7,100	7,800	8,510	9,210	6,390	7,490	8,860
ユニット	H19.3～H21.3	6,570	7,280	7,980	8,690	9,290	6,570	7,570	8,940
	H21.4～24.3	6,690	7,400	8,100	8,810	9,410	6,690	7,690	9,060
	H24.4～26.3	6,590	7,290	8,020	8,720	9,410	6,590	7,610	8,970
	※H26.4～27.3	6,630	7,330	8,070	8,770	9,470	6,630	7,660	9,020
	H27.4～30.3	6,250	6,910	7,620	8,280	8,940			
	H30.4～R1.9	6,360	7,030	7,760	8,430	9,100			
	※R1.10.1～	6,380	7,050	7,780	8,460	9,130			
	R3.4～	6,520	7,200	7,930	8,620	9,290			

短期利用		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
多床室	H12.4～H15.3	9,420	9,870	10,310	10,760	11,200
	H15.4～H17.9	8,410	9,120	9,820	10,530	11,230
	H17.10～H18.3	6,890	7,600	8,300	9,010	9,710
	H18.3～H19.3	6,890	7,600	8,300	9,010	9,710
ユニット	H19.3～H21.3	7,070	7,780	8,480	9,190	9,790
	H21.4～24.3	7,210	7,920	8,620	9,330	9,930
	H24.4～26.3	7,110	7,810	8,540	9,240	9,930
	※H26.4～27.3	7,150	7,850	8,590	9,290	9,980
	H27.4～30.3	6,770	7,430	8,140	8,800	9,460
	H30.4～R1.9	6,820	7,490	8,220	8,890	9,560
	※R1.10.1～	6,840	7,510	8,240	8,920	9,590
	R3.4～	6,960	7,640	8,380	9,080	9,760

1. 入居利用者の要介護度の構成

年度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計	平均要介護度
平成30年	0	3	20	41	22	86	3.96
平成31年	0	2	16	45	23	86	4.04
令和2年	0	2	20	42	26	90	4.03
令和3年	0	1	24	44	20	89	3.93
令和4年	0	1	24	38	23	86	3.97

1-2. 要介護度別利用状況(件数)

年間稼働率 94.6%

①要介護度別延べ利用者数(月請求件数)

入所	I	II	III	IV	V	計	稼働率
4月		30	676	1,329	600	2,635	97.6%
5月		31	682	1,388	620	2,721	97.5%
6月		30	660	1,340	589	2,619	97.0%
7月		31	712	1,301	660	2,704	96.9%
8月		31	665	1,336	671	2,703	96.9%
9月		30	586	1,316	699	2,631	97.4%
10月		31	616	1,318	751	2,716	97.3%
11月		30	585	1,249	750	2,614	96.8%
12月		30	571	1,210	778	2,589	92.8%
1月		5	635	1,196	698	2,534	90.8%
2月		28	612	1,069	624	2,333	92.6%
3月		31	715	1,164	659	2,569	92.1%
合計	0	338	7,715	15,216	8,099	31,368	95.5%

②要介護度別延べ利用者数

短期	I	II	III	IV	V	計	稼働率
4月	0	13	87	121	29	250	83.3%
5月	0	0	110	149	30	289	93.2%
6月	0	0	96	139	29	264	88.0%
7月	0	0	90	120	7	217	70.0%
8月	0	0	98	122	0	220	71.0%
9月	1	0	116	145	0	262	87.3%
10月	7	5	120	136	0	268	86.5%
11月	0	1	133	116	0	250	83.3%
12月	0	0	160	120	0	280	90.3%
1月	0	0	150	149	0	299	96.5%
2月	0	0	125	136	0	261	93.2%
3月	0	0	148	150	0	298	96.1%
合計	8	19	1,433	1,603	95	3,158	86.5%

2. 利用料負担の現況

住民税	負担段階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	構成比
非課税	請求数	89	90	89	90	90	89	91	88	87	87	87	89	1,066	100%
	第1段階	3	3	3	4	4	4	4	4	4	3	3	4	43	4.0%
	第2段階	18	18	17	17	18	18	19	19	20	20	21	20	225	21.1%
	第3段階	41	42	42	41	38	38	39	38	37	37	38	39	470	44.1%
課税	第4段階	27	27	27	28	30	29	29	27	26	27	25	26	328	30.8%
補足 給付 非該当	第2段階	9	9	9	8	8	7	7	7	6	6	6	6	88	※非該当の事由 ・預貯金額 ・配偶者の所得
	第3段階	3	3	3	3	5	5	5	4	4	4	4	5	48	
	計	12	12	12	11	13	12	12	11	10	10	10	11	136	

社福法人軽減	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	軽減金額	比率
北見市	22	22	23	21	21	21	22	21	20	19	18	20	250	4,767,676	84.7%
千歳市	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4	83,311	1.5%
北見市短期	3	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	38	780,201	13.9%
合計	26	27	28	25	24	24	25	24	23	22	21	23	292	5,631,188	100%

3. 年 齢 構 成

(R5.3.31)

	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～94	95～99	100～	計	平均年齢
男	0	2	4	5	3	4	1	0	19	84歳1ヵ月
女	1	0	5	4	19	22	14	2	67	90歳2ヶ月
計	1	2	9	9	22	26	15	2	86	88歳10ヶ月

※最少年齢; 68歳08ヶ月 ※最高年齢; 100歳2ヶ月

4. 利用期間の変遷

(R5.3.31)

年度	～6ヶ月	～1年	～2年	～3年	～5年	～10年	～15年	～22年	平均在所期間	備考
30年度	10	9	14	9	14	20	9	1	4年3ヶ月	※最長22年2ヶ月
31年度	13	14	14	11	9	16	8	1	4年8ヶ月	
2年度	11	8	23	9	17	11	10	1	3年11ヶ月	
3年度	8	7	17	19	16	11	8	1	3年8ヶ月	
4年度	16	6	12	13	17	13	6	3	3年8ヶ月	

5. 入 所 経 路 別

年度	家庭	医療機関	老人保健施設	グループホーム	養護老人ホーム	高専住宅等	特養	その他	計
30年度	35	30	11	3	5	0	0	2	86
31年度	35	30	9	3	5	4	0	0	86
2年度	29	38	8	4	5	5	0	1	90
3年度	26	36	9	4	4	6	0	2	87
4年度	26	35	7	3	4	11	0	0	86

6. 入 退 所 状 況

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	備 考
入所	2	2	0	4	1	1	2	0	2	3	3	5	25	
退所	1	1	3	1	2	0	3	3	2	3	4	3	26	死亡24名/入院退所2名/その他0名

7. 入 退 院 日 数

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	帰 園	死 亡	退 所
月内入院数	2	1	2	2	3	2	2	0	5	4	2	3	28	15名	1名	2名
入院日数	8	8	16	33	38	20	17	0	51	95	37	65	388			

8. 入院日数比較

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	延入院者数	平均入院日数
30年度	36	106	71	35	75	42	5	35	25	26	62	44	562	45	12.49
31年度	28	63	44	85	140	123	78	33	42	34	73	60	803	35	22.95
2年度	92	63	106	93	29	26	39	13	3	30	52	105	651	42	15.50
3年度	95	24	9	33	78	34	99	68	52	32	22	9	555	37	15.00
4年度	8	8	16	33	38	20	17	0	51	95	37	65	388	28	13.86

9. ベッドの稼働率

(入所)

年度	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	満床	稼働率
30年度	90	2,621	2,640	2,599	2,710	2,706	2,644	2,761	2,661	2,701	2,710	2,412	2,646	31,811	32,850	96.9%
31年度	90	2,534	2,560	2,561	2,638	2,597	2,559	2,632	2,600	2,677	2,722	2,491	2,676	31,247	32,940	94.9%
2年度	90	2,480	2,556	2,492	2,624	2,674	2,579	2,730	2,675	2,748	2,685	2,423	2,684	31,350	32,850	95.5%
3年度	90	2,586	2,683	2,616	2,718	2,666	2,596	2,646	2,605	2,733	2,712	2,430	2,717	31,708	32,850	96.6%
4年度	90	2,635	2,721	2,619	2,704	2,703	2,631	2,716	2,614	2,589	2,534	2,333	2,569	31,368	32,850	95.5%

(短期)

年度	定員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	満床	稼働率
30年度	10	107	129	153	184	208	184	145	198	159	180	204	257	2,108	3,650	57.8%
31年度	10	299	267	221	243	257	229	237	229	242	250	247	254	2,975	3,660	81.3%
2年度	10	214	248	251	283	273	264	253	261	268	258	236	235	3,044	3,650	83.4%
3年度	10	257	282	205	214	285	277	274	251	259	253	241	239	3,037	3,650	83.3%

4年度	10	250	289	264	217	220	262	268	250	280	299	261	298	3,158	3,650	86.5%
-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-------	-------

10. 面会状況(件数)

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	439	433	389	423	385	442	420	428	444	419	378	459	5,059
31年度	548	541	566	540	581	576	548	559	525	560	388	10	5,942
2年度	12	11	12	22	13	15	16	6	4	15	9	19	154
3年度	2	1	3	6	7	6	7	2	0	2	6	14	56
4年度	7	2	8	7	1	13	10	3	5	3	19	46	124

※R2年2月以降は、新型コロナウイルス対策で面会制限したため、窓越しやオンライン面会での件数

11. ヒヤリ・ハット(報告件数)

※皮膚のトラブルを除く

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
30年度	13	14	10	14	23	6	14	15	19	16	13	11	168
31年度	11	19	10	15	20	21	15	15	16	19	26	7	194
2年度	14	12	19	20	21	8	14	16	12	17	15	12	180
3年度	17	19	20	23	21	13	8	16	8	10	9	13	177
4年度	10	15	22	7	11	17	8	6	6	16	13	9	140

12. 事故報告件数—オホーツク振興局

1 左大腿骨折	6月10日	1人	居室内で歩行時にバランスを崩して転倒
2 胸椎11番、腰椎1番圧迫骨折	3月10日	1人	居室内で歩行時にバランスを崩して転倒

13. 待機者一般状況(令和5年3月31日現在)

①推移

	在宅	病医院	介護	ケアハウス	高下宿等	老健	療養型	GH	その他	計
男	4	20	2	1	4	5	0	3	1	40
女	22	25	0	1	6	7	0	5	0	66
合計	26	45	2	2	10	12	0	8	1	106

③性別

男	43
女	63
合計	106

④圏域別

市内	74
圏域内	29
圏域外	3
合計	106

②要介護度別

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	その他	合計
男	0	1	13	18	11	0	43
女	3	6	20	18	16	0	63
計	3	7	33	36	27	0	106

⑤世帯状況

	単身	夫婦	子供	その他	合計
男	22	11	10	0	43
女	30	9	24	0	63
合計	52	20	34	0	106

14. 参考資料

表1. 介護老人福祉施設

特別養護老人ホーム	北寿園	光の苑	こもれびの里	あいせいの杜	希楽園	くつろぎ	ところ	合計
入所定数	90	102	100	79	50	145	70	636
短期定数	10	25	20	10	6	18	10	99

地域密着型小規模特養	こもれび輪	フルーツ	むつみ	こもれびヶ丘	合計
入所定数	29	29	29	29	116
短期定数	空床利用	空床利用	空床利用	空床利用	—

表2. 市内介護施設の数とベッド数

施設数	特養	小規模特養	老健	ケアハウス	特定施設	養護老人ホーム	グループホーム	小規模多機能型事業所	複合サービス事業所	合計
施設数	7	4	3	2	2	2	31	11	1	63
ベッド数	666	116	280	120	101	230	474	291	25	2,303

表3.北見市の高齢化率

	人口		65歳以上の人口		高齢化率		60歳以上の人口比	
	H22.3	R5.3	H22.3	R5.3	H22.3	R5.3	人口	構成比
北見自治区	108,488	99,349	24,606	33,167	22.68%	33.38%	39,796	40.1%
端野自治区	5,317	4,257	1,375	1,655	25.86%	38.88%	2,040	47.9%
常呂自治区	4,648	3,392	1,363	1,207	29.32%	35.58%	1,482	43.7%
留辺蘂自治区	8,021	5,307	2,837	2,775	35.37%	52.29%	3,197	60.2%
合 計	126,474	112,305	30,181	38,804	23.86%	34.55%	46,515	41.4%

表3.北見市の年代別要介護の原因疾患 (H24北見市要介護認定主治医意見書)

分類 年齢	関節 疾患	認知 症	脳血 管疾 患	悪性 新生 物	骨折・ 転倒	心疾 患	高血 圧症	糖尿 病	呼吸 器疾 患	衰弱	精神 疾患	パー キン ソン	生活 習慣 病 その他	その他
40歳～64歳	11.8%	8.2%	22.4%	34.1%	1.2%	1.2%	1.3%	2.4%	1.2%	0.0%	3.5%	2.4%	1.2%	10.6%
65歳～	15.5%	16.0%	12.1%	13.4%	8.0%	6.4%	5.5%	2.0%	3.7%	1.9%	2.8%	1.6%	3.7%	6.7%
総 数	15.3%	15.6%	12.7%	14.5%	7.6%	6.1%	5.3%	2.0%	3.5%	1.8%	2.9%	1.6%	3.5%	6.9%
北寿園	21	31	40	5	31	21	43	20	6	0	6	1	1	11
割合	23%	34.4%	44.4%	5.6%	34.4%	23.3%	47.8%	22.2%	6.7%	0.0%	6.7%	1.1%	1%	12%

※集計=入所時の診断書より

要介護の原因と考えら れる疾患の数	1つが原因とおもわれる群	2つが原因とおもわれる群	3つ以上が原因とおもわれる群
	7	28	52